

環境経済論

担当者 鎌苅 宏司

開講時期 前期 単 位 2

●講義の概要

この講義では、財と廃棄物の取引市場の違いを踏まえて、廃棄物の再資源化など廃棄物処理に関する制度設計のあり方を、経済学の観点から解説します。

●講義の到達目標

バズという廃棄物に関する経済学のとらえ方を理解することで、わが国の廃棄物処理の現状と課題を考えることができるようになります。

●講義計画

テキストの章ごとに、その内容を解説します。その際、毎回の教材を事前にmanabaに載せておきますので、目を通しておいってください。また、講義時に参考文献も適宜解説します。

- 第1回 グッズの世界、バズの世界
- 第2回 動脈産業と静脈産業
- 第3回 バズとゼロエミッション
- 第4回 安定した市場リサイクルの条件
- 第5回 逆選択とパートナーシップ
- 第6回 PPP(汚染者支払原則)と費用負担
- 第7回 前半の講義内容の理解を確かめる
- 第8回 環境保全のトレードオフ
- 第9回 バズのマクロ経済学
- 第10回 環境制約と経済成長
- 第11回 バズの管理システム
- 第12回 後半の講義内容の理解を確かめる
- 第13回 廃プラスチックの処理と資源循環ビジネス
- 第14回 循環経済における拡大生産者責任の果たす役割
- 第15回 経済学からみた廃棄物不適正処理問題

●成績評価基準と方法

成績評価の基準は、講義内容の理解を問うものであり、具体的にはレポート課題によります。昨年度のレポート課題は、拡大生産者責任に関するこれまでの議論をまとめるものでした。

●テキスト又は参考文献

テキストは細田衛士著『グッズとバズの経済学（第2版）』東洋経済新報社、2012年。参考文献は細田衛士著『資源の循環利用とはなにか』岩波書店、2015年、細田衛士著『資源循環型社会』慶應義塾大学出版会、2008年、細田衛士・大沼あゆみ編著『環境経済学の政策デザイン』慶應義塾大学出版会、2019年、『環境情報科学』48-3号、2019年他。

●受講上の留意点

テキストは、できるだけ数式を用いない文献で、経済学の考え方を解説しているものを選んでいきます。講義までに予習と復習をしておいてください。